

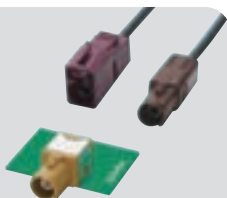
株主・投資家のみなさまへ



第94期中間経営報告書

2015年4月1日から2015年9月30日まで

Connection
System
Division



FAKRA規格対応
SMB同軸コネクタ

Functional
Components
Division



小型同軸
カメラモジュール

Touch Panel
Division



フルフラット構造
抵抗膜方式フォース
フィードバックタッチパネル

90th

CREATIVE CONNECTIVITY



代表取締役社長

池田 靖光

平素は格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

ここに、当社グループ第94期中間期（2015年4月1日～2015年9月30日）の事業の概況、業績等につきましてご報告申し上げます。

株主の皆様におかれましては、今後とも変わらぬご支援、ご鞭撻を賜りますよう宜しくお願い申し上げます。

2015年11月

当中間期の概況

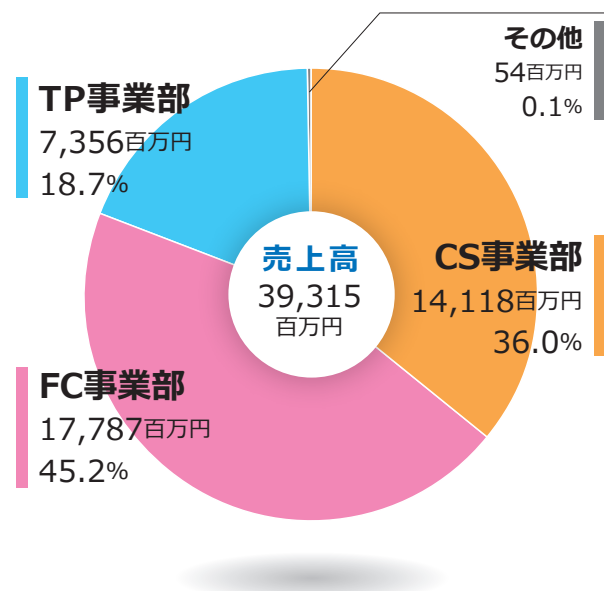
当中間期における世界経済は、中国経済の減速傾向が鮮明となりましたが、全体としては米国経済が牽引役となり緩やかな成長軌道を維持しました。日本経済は、企業収益が緩やかに回復し、雇用環境の改善も見られましたが、中国をはじめ新興国の景気の減速や国内の個人消費の伸び悩みから景況感には横ばいとなりました。

このような状況の下、当社グループにおきましては、主力の自動車市場では、コネクタ、カメラモジュール、タッチパネルなどで売上げが順調に拡大しました。通信市場では、新製品の採用や標準品の展開が進み堅調に推移しました。また、積極的な新製品の投入と価格競争力の向上、営業力の強化、業務の効率化に努めました。以上の結果、当中間期における連結業績は前年同期比増収増益となり、1株あたり中間配当を6円とさせていただきます。

今後は、自動車向け、スマートフォン向け、セットトップボックス向けなどの主力製品で売上げを伸ばすとともに、IoT、HEMS、環境・エネルギー、医療・ヘルスケア、ウェアラブル端末など新市場への開拓を進め、さらなる収益の拡大をめざします。また、Challenge, Creativity, Solutionsの志向をより一層高め、世界中のお客様や社会の顕在的な課題のみならず、潜在的な課題の解決にも果敢に挑戦してまいります。

事業部門別の概況

Review of Segment



FC事業部

Functional Components Division

【主要品目】

- リモコン
- 各種無線ユニット
- スイッチ
- カメラモジュール



Bluetooth®4.0LE通信対応
標準多機能リモコン
用途：TV、セットトップボックス、
ホームネットワーク関連機器

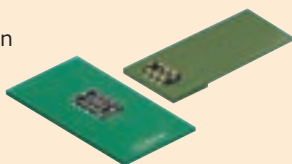
主力のリモコンは、欧米向けのセットトップボックスに加え、中国顧客への採用が進み、大幅に伸長しました。また、白物家電やサニタリー向けも、日系顧客に加え、北米顧客への拡販が進みました。自動車市場では、カメラモジュール、静電操作パッドが堅調に推移しました。情報通信市場では、新規スマートフォンに小型スイッチが採用され、売上に寄与しました。今後はウェアラブル、HEMS市場を新市場と位置付け、商品開発、拡販を強化してまいります。

CS事業部

Connection System Division

【主要品目】

- 同軸コネクタ
- 基板対基板コネクタ
- FPCコネクタ
- ジャック



FPC対基板コネクタ「FB-7シリーズ」
用途：スマートフォン、
タブレットPC、携帯電話

市況変化により太陽光発電向けが大きく減少しましたが、その他市場向けは概ね堅調に推移しました。主力の情報通信市場では、顧客別に好不調の差はあるものの、北米・中国メーカー向けの採用が進み堅調でした。注力している自動車市場では、法制化の後押しで安全走行関連部品の需要が拡大しました。また、ヘルスケア・TVゲーム向けで新規採用により大きく伸長しました。今後も高速伝送・小型化技術を駆使し、伸びる市場に向けた新製品開発を進めてまいります。

TP事業部

Touch Panel Division

【主要品目】

- 抵抗膜方式タッチパネル
- 静電容量方式タッチパネル
- 光学方式タッチパネル



偏光サングラス対応
静電容量方式タッチパネル
用途：カーナビゲーション、
車載用センターコンソール等

自動車市場において、米国、中国市場向けは予定通り推移いたしました。他国市場向けにおいて一部顧客の販売不振による影響も受けましたが、新製品の静電容量方式タッチパネルの量産も開始され今後はさらなる成長が見込まれます。産機市場においては、一部市場での価格競争激化により苦戦を強いられましたが、医療機器、工作機械、事務機向けに新規ビジネスを開始いたしました。また、白物家電やウェアラブル用途など、販売増が期待される新分野での拡販も積極的に行ってまいります。

主力製品で見るSMKの90年と未来の有望市場

国内ラジオ放送が始まった90年前、SMKも第一歩を踏み出しました。「良い部品は良いセットを作る」いう創業の精神を守りながら、これからもより豊かで発展的な未来社会の実現に貢献してまいります。

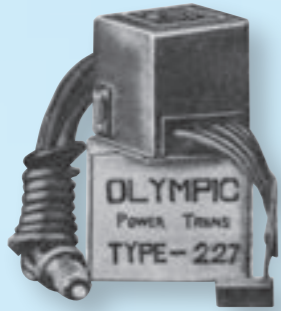
1920年～1940年代前半

主力製品：ラジオ、ラジオ部品

Pick Up! ①

オリンピックパワートランス

1929年、「無線で世界を結ぼう。オリンピック大会のような若さと力にあふれた企業に育て、将来は世界に販路を広げよう」という思いを含め、「オリンピック」という商標で登録されました。



Pick Up! ② オリピック680型受信機

1937年、日本ラジオ協会主催の第1回ラジオ共進会において、出品された107台の機種の中からSMKの「オリピック680号」が優秀品として入賞。受信機メーカーとしてわずか5年目での快挙でした。



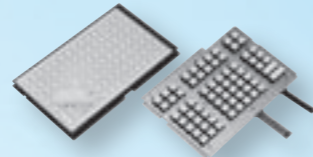
1940年代後半～1960年代

主力製品：テレビ部品

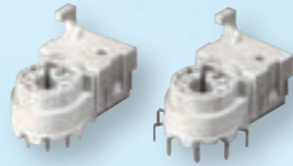
ST管用真空ソケット
白黒・カラーテレビ用ブラウン管ソケット

1980年代～1990年代

主力製品：通信・情報機器



POS用キーボード



CRTソケット

Pick Up! 標準赤外線式リモコン

SMKはテレビ、ビデオ、オーディオ用などの標準赤外線式リモコンを次々に投入。お客様別のニーズにあわせた商品を開発し、「リモコンならSMK」という定評を得ました。



2000年代～2010年代前半

主力製品：通信機器・カーエレクトロニクス部品

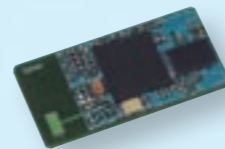
1970年代

主力製品：VTR部品

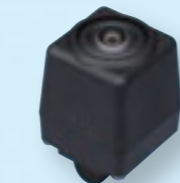


大型ジャック

スライドスイッチ



Bluetooth®
オーディオモジュール



車載用カメラモジュール

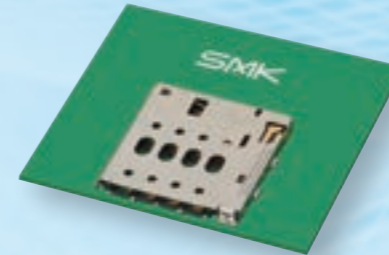
Pick Up! ② 車載用 静電容量方式OGSタッチパネル

高耐久性が求められる車載用タッチパネルにおいて、SMK製品は自動車関連部品に求められる厳しい基準をクリアし、人と装置のインターフェースとして高い評価を獲得しています。



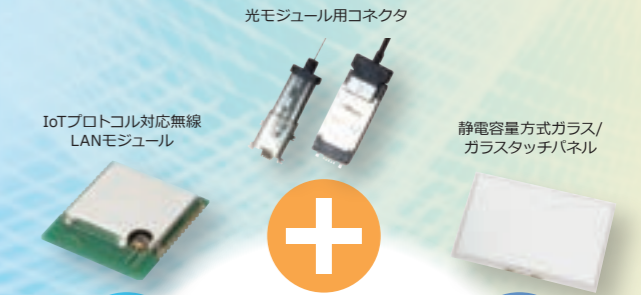
Pick Up! ① microSIMカード用コネクタ

SMKの小型化・軽量化の技術を活かしたmicroSIMカード用コネクタがスマートフォン、携帯電話、タブレットPC向けなどに採用されました。



2015年～2020年代

長い歴史から培った高度な技術と時代を先取りする新しい発想を駆使して、SMKはこれからも地球規模で進化するニーズに応え続けてまいります。



IoTプロトコル対応無線LANモジュール

光モジュール用コネクタ

静電容量方式ガラス/ガラスタッチパネル



IoT
"Internet of Things"

メディカル・ヘルスケア



カーエレクトロニクス

未来の有望市場



再生可能エネルギー・エコ



ウェアラブル端末



DC入力 2Pコネクタ



HEMS・スマートハウス



ECHONET Lite対応有線LANアダプター



静電容量方式透明タッチスイッチ

連結財務データ

Consolidated Financial Data

詳細な財務情報は

SMK IR

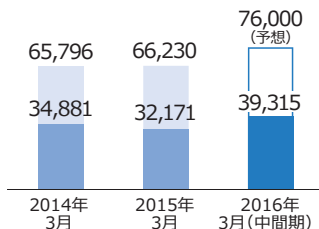
検索

売上高

(単位：百万円)

39,315百万円
(前年同期比 22.2%増↑)

■ 中間期 □ 通期

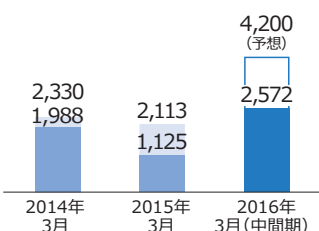


営業利益

(単位：百万円)

2,572百万円
(前年同期比 128.4%増↑)

■ 中間期 □ 通期

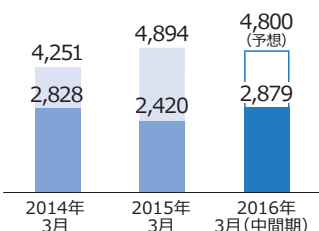


経常利益

(単位：百万円)

2,879百万円
(前年同期比 19.0%増↑)

■ 中間期 □ 通期

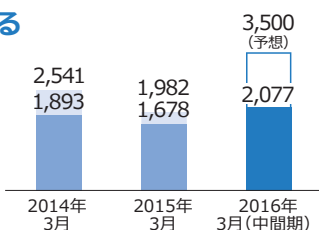


親会社株主に帰属する 四半期(当期)純利益

(単位：百万円)

2,077百万円
(前年同期比 23.7%増↑)

■ 中間期 □ 通期

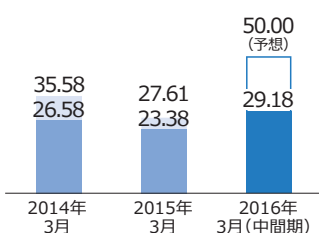


1株当たり 四半期(当期)純利益

(単位：円)

29.18円
(前年同期比 5.80円増↑)

■ 中間期 □ 通期



株式情報 (2015年9月30日現在)

Stock Information

株式の状況

発行可能株式総数	195,961,274株
発行済株式の総数	79,000,000株
株主数	7,632名

大株主 (上位10名)

株主名	持株数 (千株)	持株比率 (%)
株式会社みずほ銀行	3,527	5.02
日本生命保険相互会社	3,241	4.62
大日本印刷株式会社	3,200	4.56
SMK協力業者持株会	2,960	4.22
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 (信託口)	2,672	3.80
日本マスタートラスト信託銀行株式会社 (信託口)	2,524	3.59
株式会社三菱東京UFJ銀行	2,508	3.57
三菱UFJ信託銀行株式会社	1,800	2.56
SMK社員持株会	1,763	2.51
公益財団法人 昭和池田記念財団	1,500	2.13

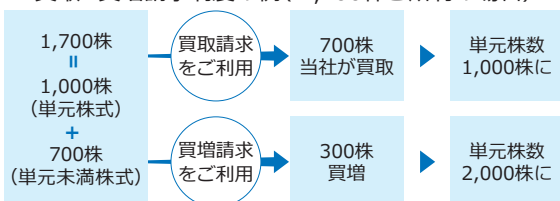
(注) 当社は自己株式8,865千株を保有しておりますが、上記大株主からは当社を除いており、また、上記持株比率は自己株式を除外して算定しております。

株式に関するお問合せ先・お手続き先

1. 配当金のお振込、単元未満株式の買取・買増請求、特別口座から証券会社の口座へのお振替、住所変更等のお手続き窓口は次のとおりです。

証券会社に口座を開設されている株主様	口座を開設された証券会社にご照会下さい。
証券会社に口座を開設されていない (特別口座に記録されている) 株主様	当社の特別口座の口座管理機関 (兼 株主名簿管理人) である三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 (0120-232-711 通話料無料) にご照会下さい。

● 買取・買増請求制度の例 (1,700株ご所有の場合)



2. 配当金をお受け取りになっていない株主様は、上記の三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部の電話照会先にご連絡下さい。

コーポレートデータ (2015年9月30日現在)

Corporate Data

会社概要

商号	SMK株式会社
英文社名	SMK Corporation
創立	1925年(大正14年)4月3日
設立	1929年(昭和4年)1月15日
資本金	7,996,828,021円
従業員数(SMKグループ)	6,024名
本社	〒142-8511 東京都品川区戸越6丁目5番5号 TEL (03)3785-1111(代表) FAX (03)3785-1878 ホームページアドレス http://www.smk.co.jp/

役員一覧

取締役および監査役

代表取締役社長	池田 靖光
代表取締役副社長	櫻井 慶雄
取締役常務執行役員	角 芳幸
取締役常務執行役員	若林 幹雄
取締役	棚橋 祐治
常勤監査役	池田 彰孝
常勤監査役	中村 哲也
監査役	中島 成
監査役	清水 一朗

執行役員

常務執行役員	ポール・エバンス
常務執行役員	大垣 幸平
執行役員	松本 秀夫
執行役員	磯田 勉
執行役員	宮川 宏
執行役員	柳 茂哉
執行役員	石橋 竹己
執行役員	関 晴孝
執行役員	池尾 政信
執行役員	後藤 光彦
執行役員	原 哲雄

ホームページのご案内

当社ホームページでは、事業内容をはじめ、最新のニュースリリースやIR情報を掲載しております。ぜひご覧ください。

SMK

検索

<http://www.smk.co.jp/>

SMKはウィルチェアラグビーの羽賀理之選手を応援しています。

<https://www.facebook.com/massasmk>

SMK株式会社